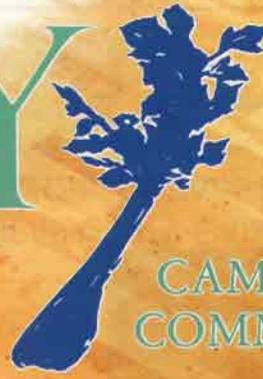


CELERY

No.26
1997



CAMPUS
COMMUNICATION



中村学園大学 中村学園短期大学 / 広報

メッセージ

新しく本学から社会へ

旅立たれる皆さんへ

—豊かな知性と感性を育む努力を—

学長 山元 寅男



本学の大学院、家政学部並びに短期大学のそれぞれの課程を無事終了されて、社会に巣立って行かれます皆さん、卒業誠におめでとうございます。私も教職員一同心からお喜び申し上げます。皆さんは、本学において、大学院では二年間、学部においては四年間、短期大学にあっては二年間、

それぞれの専門分野の学業を終えられ、今、ここに社会人としての第一歩を踏み出すとしておられるわけでありませぬ。これまで、皆さんは、本学の先生方から学園祖中村ハル先生の建学の精神に基づく厳しくも、熱意溢れる教育と研究指導を受けられ、これから目指される社会活動に必要な、知識と技能、さらには、社会人としての態度や心がけを身につけられたことと思います。しかしながら、皆さんが本学中に修得されたものは、これからの社会活動に必要な基礎的な知識であり、技能であり、また、マナーであることを忘れてはなりません。めざましい学問の進歩につれ、社会の進歩も著しく、社会は絶えず最新の知識や技術を必要としております。皆さんにとって、今後の社会生活を通して、知識を殖や

し、技能を磨き、豊かな知性と感性を育む努力こそ大切であります。すなわち、生涯学習に励まなければなりません。中村ハル先生のご遺訓であります「努力の上に花が咲く」を今一度噛みしめて下さい。

皆さんは、また、本学在学中に多くの人との出会いがありました。素晴らしい先生との出会い、無二の学友との出会い、その出会いを通して、多くの感動を覚えたこともあったことと思います。心豊かな人生にとって、豊かな知性と感性に裏打ちされた感動は、なくてはならないものであります。より立派な社会人となるためにも、これらの感動をいつまでも大切にして下さい。

現在、我が国は、経済的にも、社会的にも、多くの問題を抱えております。皆さんも、就職に際して、いろいろ困難な状況に遭遇されたことと思います。しかしながら、いくら経済不況とは云っても、現在は、我が国の歴史の中で、繁栄の頂点にあると云っても過言ではありません。欲しいものは直ぐにも手に入り、食べたい物は容易に食べられ、海外旅行にもほとんど行ける世の中でありませぬ。人々はこの繁栄の中に埋没しながら、自己中心的に不平不満を言い合っているのが現状ではないでしょうか。

戦後復興期の、栄養失調に苦し

みながらも、一生懸命に働いた、あのハングリー精神は、遠くに忘れ去られた感さえしている今日であります。しかし、この繁栄がいつまで続くかは、何の保証もない不安定な情勢にあることも事実であります。この様なことを真剣に考え、我が国のこの繁栄が、あの戦後の国民の血と汗の努力により生み出されてきたその歴史を、この機に是非とも検証し、かつ、学んで欲しいと思います。

世界に目を転ずれば、食料問題、エネルギー問題、難民問題、民族問題、これらに運動する国際経済問題等々、我々が否応なしに直面せざるを得ない多くのことが、次から次と生起しております。我が国の存否にも関わりかねない様な諸問題が我々の目の前に到来しつつあります。これまでの我が国の繁栄の中にいつまでも埋没して、これらの問題に無関心であつてはこれからの日本の行く末が危ぶまれることになりませぬ。

皆さんは、これからの日本社会の中堅となり、我が国を支えて行く力となるべき方々でありますから、これらのことを是非とも念頭に置きながら、日本の行く末を真剣に考えて頂きたいと願っております。終わりに、皆さんのご健勝を祈念申し上げますとともに、我が母校の誇りを胸に存分に活躍して下さい。願って止みませぬ。

卒業生インタビュー

考え方が違って、持っている夢が違って、同じ中村学園のキャンパスに学び、社会にはばたいていく卒業生、本学での思い出やこれからの夢を聞いてみました。

事業所実習での思い出

大学・管理栄養士専攻

松本 延子さん(右)

小学校の頃は食べる側だった給食を作る側になった事業所実習は大変でしたが、いい経験になりました。栄養指導のため徹夜で作成した紙芝居が好評で、担任の先生に寄贈しました。



クラブ活動で充実した学生生活

短期大学・幼児教育科

藤本 雅子さん

クラブ活動では、会計を務め、予想以上に大変な役割でしたが頑張っでやり遂げました。先輩や、後輩がたくさんでき、勉強面でも私生活の面でも充実した時間が過ごせました。卒業後は相手の気持ちを理解し、その人にとって一番良い接し方を心掛けたいと思います。



笑顔をお忘れずに

大学・管理栄養士専攻

日巻 重代さん(左)

実習・実験がとて多かったですね。調理実習のため、家でかつら剥きの練習をしたことを思い出します。その結果、授業ではほめられました。将来は、人とふれあい、笑顔をおやさない栄養士になれるように頑張ります。



卒業後は保父として頑張る

大学・児童学専攻

荒井 賢一さん

バスケット同好会に入り、友達も増え、視野が広がりました。リーグ戦で負け続けても、ふてくされない、前向きな姿勢のクラブだったので、練習も楽しかったです。

卒業後は保父となるので、子どもの笑顔をお大切にできる保育者になりたいと思います。

人の目標にされる教員に

大学・児童教育学専攻

横尾 恭子さん

4年間の寮生活で、同じクラスだけでなく、学園全体に友人ができました。ただ心残りなのは門限などがあり、冒険ができなかったことです。4月からは小学校教員となるので、人のためになり、目標とされるような教育者を目指します。



新しいことにも挑戦

短期大学・家政科

三好 裕子さん

短大生活での収穫の一つはアルバイトで得た経験です。人と接するのが好きだったので、大変だったけれど、2年間続けることができました。4月からインフォメーションの仕事に就きますが、学生時代の経験を少しでも生かせたらと思います。また、英会話など、新しいことにもどんどん挑戦していくつもりです。



青春18切符で大阪に旅行

大学・食物栄養学専攻

長谷部 奈美さん

大学1年の春休みに、青春18切符で旅行しました。友達が寝坊して列車に乗り遅れるというハプニングを乗り越え、片道13時間かけて大阪まで行きました。3週間を2万円で過ごすという旅は、大学時代だからこそできたと思います。また、長く親元を離れることで、少しは自立心が芽生えたと思います。



人の健康に貢献したい

大学院・栄養科学研究科

内田 和宏さん

修士論文、それに係わる実験・研究はとても興味深いものがあつた。人間の体の反応一つをとっても、全ての人に世の中の常識があてはまる訳ではないことなど、日々、新しい発見の連続だった。これからも研究を重ねて、世の中の人々がより健康になるように貢献していきたい。



長いようで短い学生時代

短期大学・食物栄養科

紫崎 直美さん

学生生活・アルバイトを通して様々な人との出会いがありました。学生生活は長いようで短いものです。車の免許や資格など、自由な時間がある学生時代に身につけておくことをお勧めします。また、友達をたくさん作り、積極的に行動すると自分の世界がもっと広がりますよ。



平成8年度 科学研究費補助金対象研究の目的と内容

(上)

文部省から交付される科学研究費補助金対象研究について、本年度に14件の交付が決定したことは、前号(第25号、平成8年10月28日発行)でお知らせしたが、今号と次号で各研究の概要について紹介する。(ただし、平成7年度からの継続研究分については、すでに紹介しているので除いている。)

肥満の長期減量効果を維持する因子― 特に満腹液性因子と中枢機能の役割



大学院 栄養科学研究科
教授 中村 元 臣 (代表)

肥満は摂取カロリーの過剰とエネルギー消費の減少によって起こり、インスリン作用効率の低下(インスリン抵抗性)、ひいては糖尿病、高血圧、高脂血症を起し易く、遂には動脈硬化による心血管事故や腎不全を発症させ易くする病態として注目される。

人類の歴史の中で飢餓の時代には肥満し易い体質は有利であったと思われるが、現在のようには飽食の時代には生存に不利に働いている可能性が高いと思われる。

従来、肥満を是正するには摂取カロリーを低下させ、運動を中心にエネルギー消費を高めることを中心に行なわれてきたが、二九年以上肥満の是正を長期にわたり維持し得たとする研究は殆んどないのが現状である。ヒトにおいては長年にわたり形成されてきた食習慣を中心とする個々の人のいわゆるくせやひずみを是正し続けることが大変困難であると思われる。本研究では、肥満者を募集し、

肥満者の肥満度、体脂肪の分布、運動歴、食習慣と食生活等の実態を調査測定するとともに、エネルギー代謝に関連する各種ホルモンの他に、近年実験動物を中心に急速に明らかになつてきた中樞神経系への作用物質、とくに満腹中枢に働くと考えられる数種の液性

遺伝性糖尿病マウスにおけるマグネシウム負荷食による子宮筋異常収縮の改善効果の検討

〈基盤研究(C)(2)〉



食物栄養学科・食物栄養科
教授 青峰 正裕 (代表)

糖尿病病婦人が妊娠した場合、糖尿病コントロールにより正常児の出産が可能となるが、妊娠、出産に伴うリスクは正常人に比して統

計的に有意に高いことが報告されている。また、糖尿病動物においては心筋や子宮筋の収縮頻度異常や収縮力減弱等が知られている。一方、食生活の変化に伴ってマグネシウム(Mg)摂取量の減少が報告されている。Mgは非常に広範囲の基礎的な細胞反応に必須な役割を演じていて、その欠乏は重大な生化学的そして症候性の変化をもたらすことが知られている。インスリン依存性(Ⅰ型)の妊婦糖尿病における血清および筋肉Mg濃度と血中グリコヘモグロビン濃度間には負の相関が認められ、Ⅰ型の小児では健常対照群の小児より血清Mg濃度が低い傾向にあり、糖尿病が改善された群では血清Mg濃度は有意に増加していた。また、糖尿病の母親から生まれた胎児の約三分の一は生後最初の三日間は低Mg血症であったことが報告されている。Mg欠乏の臨床例では種々の胃腸症状や人格変化に加えて、筋肉症状としてはテタニー、痙攣、筋痙攣、振せん等が知られている。

そこで、本研究の目的は糖尿病マウスを用いて、前述の子宮筋自発収縮頻度異常や収縮力減弱が適量Mg負荷により改善されるかどうかを検討することにある。この動物実験によりMgによる改善効果が確認された場合、糖尿病妊婦のリスク回避へのひとつのステップとなることが強く期待される。

ヒトの血圧と脂質代謝に及ぼす経口的 KとMg 負荷の効果の差異とその機序

〈基盤研究(C)(2)〉

食物栄養学科・食物栄養科

教授 伊藤 和枝 (代表)



高血圧の治療には、一九九三年アメリカ合同委員会第五次勧告のガイドラインでも食事療法は第一段階として位置づけられている。高血圧の栄養的要因として食塩の過剰摂取が注目されているが、私どもは、食塩摂取量よりもNa/K比がより重要であると指摘してきた。すなわち、これまでに若年者ならびに中高年者を対象に、食塩摂取量を同一にして高K食・高地食を与え、血圧ならびに脂質代謝への影響を検討してきた。その結果、高K食・高Mg食のいずれの場合にも血圧の低下と、脂質代謝の改善を認めた。

しかし、降圧ならびに脂質代謝改善の効果ならびに機序はKとMgとでは異なること、十分量のK・Mgを負荷しても、効果の認められる群と認められない群のあることが示唆された。食塩にも感受



食事摂取時間帯の差による 食事性産熱(DIT)の変化について

〈基盤研究(C)(2)〉

性・非感受性群の存在が明らかにされており、K・Mgについても同様なことが考えられた。血圧調節には、Kにのみ感受性を有する群とMgにのみ感受性を有する群に分類できることが考えられるので、各群の特徴を明らかにし、血圧ならびに脂質代謝に及ぼすKとMgの役割の違いを明らかにする必要があると考えられた。

本研究では、同一対象者でKとMgの血圧と脂質代謝改善効果の感受性の差異、ならびに降圧機序と脂質代謝改善機序の違いを明らかにし、循環器疾患予防のためK・Mgの面から従来の食構成を見直す必要はないかを明らかにすることを目的とした。

我々は日々、食物を摂取することでエネルギーを得、活動エネルギーとして消費しています。ヒトのエネルギー消費量を測定する場合、一日のエネルギー消費量を三つの主要な成分に分けることが一般的に行われます。

これらの消費量のうちで最も多い部分は、絶食状態における安静中のエネルギー消費量で、普通、基礎代謝や安静時代謝を指します。二つ目の成分は身体活動により消費するエネルギーで、三つ目の成分は食事性産熱(Diet-induced thermogenesis, DIT)として知られています。

この食事性産熱は、食後、全身のエネルギー消費量を増加し数時間継続します。また、食後のエネルギー消費量の増加とその継続は、ヒトの一日のエネルギー消費量において大きな割合を占め、体重の

コントロールに大きな役割を果たしています。しかし、食事性産熱の内リズムについての報告は少なく、外国でいくつか発表されているものの夜食を含めた四食の日内変化の報告は無く、食事性産熱の内リズムの結果も存在するといふ意見と、存在しないといふ意見とまちまちです。

そこで本研究では、一定の栄養素組成の流動食を用い、食事性産熱の日内変化(朝、昼、夕、夜食後)の発現の有無を呼気ガス分析により調べます。現在の食事指導では、一日三食の食事を均等に食することを推奨していますが、この食事性産熱の日内変化に差が生ずれば、どの時点での摂取が肥満予防や治療に効果的であるかがエネルギー代謝の面から解明できると思えます。

激辛食は糖尿病を悪化するか

—糖尿病マウス子宮筋における検討—

<奨励研究(A)>

食物栄養学科・食物栄養科

助手 太田千穂



近年、食生活の欧米化により、日本での糖尿病患者は年々増加傾向にあり、糖尿病がしばしば重篤な合併症をもたらすことが知られている。糖尿病女性においては、不妊、妊娠した場合の妊娠異常や巨大児出産等の発生頻度が、健康な女性に比べて有意に高いことが報告されている。このような糖尿病妊娠では子宮内胎児死亡は高率であり、母体では、生殖器の動脈硬化による血流不全、子宮筋層の微小循環障害が認められている。

一方、最近巷では激辛食が人気を集めている。一般に病人、妊娠の食事制約のひとつに香辛料の抑制があるが、その生理学的効果は未だ十分には解明されていない。

トウガラシでは適度な摂取はカテコラミンの分泌を促し、心収縮力を増強するが、過剰な摂取は慢性的な心不全患者には心収縮力低

下を招き易く、いわば生命の危機に晒す作用を有することにもなる。本研究では糖尿病および正常マウスを用いて、日常の食生活で使用頻度の高い香辛料(コショウ、トウガラシ、マスタード、ニンニク)の辛味成分の抽出子宮筋への効果を調べる。さらに、妊娠子宮筋を用いて、辛味成分の作用を非妊娠子宮筋と比較し、妊娠への影響を調べることを目的とする。各種香辛料の辛味成分の摂取量、病態によりその効果は異なるので慎重さが求められるが、これらの作用を調べることは糖尿病悪化の予防的側面において新たなアプローチとなりうる可能性を秘めていると思われる。

高密度リポタンパク質レセプターの発現を高進する食事因子の解明(奨励研究(A))

食物栄養学科・食物栄養科

助手 竹嶋美夏子



日本人の食生活の欧米化に伴い、心筋梗塞や動脈硬化などの循環器疾患の有病率は毎年増加傾向にあり、動脈硬化の栄養による予防は重要な課題である。

高密度リポタンパク質(HDL)は、末梢組織の余剰のコレステロールを肝臓に逆輸送し、異化させる働きを有し、心筋梗塞や動脈硬化を防ぐ重要なタンパク質である。HDLの動脈硬化予防に果たす役割を解明するためには、コレステロールの逆輸送による最終運搬場所の肝臓細胞膜のHDLレセプターの同定とその分子解明が必要である。しかし、いまだその実体は不明のままである。これを解明するために、我々は、HDL

の主要アポタンパク質のアポA-Iを用いて、HDLレセプターの新しい検出法を開発した。本研究では、高コレステロール食で飼育したウサギで、肝臓のHDLレセプターの発現の増減を調べる。もしも、HDLレセプターの発現が低下しているのであれば、これが動脈硬化の原因のひとつとも解釈できる。しかしながら、我々の予備的検討では、高コレステロール食で飼育したウサギ肝臓のHDLレセプターの発現は、逆に、二倍以上増加することがわかった。これは、肝臓にコレステロールを逆輸送するためのアダプテーションとも考えられる。このような理由から、HDLレセプターの発現を高進する食事因子の解明は、コレステロールの逆輸送の機能を高めるのに重要であり、動脈硬化予防に大きく結びつく可能性もある。

(調査)

ネパールにおける

10年間の栄養調査から

食物栄養学科・食物栄養科

教授 伊藤和枝

ネパール山村には、食塩摂取量が日本人と変わらないにも拘わらず、高血圧者がいないということから、一九八七年からこれまでに五回の調査を行い、昨年夏は山村と都市近郊農村の十年目の追跡調査を行った。

電気のない山村の食生活は、山のようなトウモロコシのデイロ(おねり)と少しの飯を主食に、みそ汁の量ほどのタルカリ(野菜の煮物)と少しのアチャール(漬物)を食べ、アルコール三%程度のヒエのチャンを飲んでた。一年に何回かの祭りの時に山羊を殺して少量食べるほかは動物性食品

は摂取しない。穀類エネルギー比は約八五%と高く、タンパク質エネルギー比は約一〇%、脂質エネルギー比は約八%で、日本の昭和二十一年国民栄養調査成績と類似だった。

動物性タンパク質は殆ど摂取しないにも拘わらず、栄養状態の指標である血清アルブミン値も正常であった。そのうえ、体重の一・八倍もの荷物を担いで、一日に何度も段々畑を上り下りする体力があり、肥満者はなかった。

山村の食生活は十年前と変わらず、毎日同じものが食べられていくことにも高血圧者が殆どいない



△ご飯とタルカリの食事をする住民

ことにも変わりなかった。貧しいうちに見える食事でも、ミトツア(美味しい?)と聞くところから笑って、ミトツアと答え、そこに暗さはなかった。

今回、水牛のミルクを売っての現金収入やラジオのある家庭もわずかにみられたが、食事の内容や台所は、十年前と全く変わってはいなかった。しかし、山羊が祭りに食べられ、肉の美味しさを知っている彼らの食生活が今後どのように変わっていくかは興味深い。都市近郊農村では、すでに肉のタルカリが十年前に比べて多く食べられていた。山村で高血圧者が少ないのは、「肥満がない」こと、「運動量が多い」こと、「主食からのカリウム・マグネシウムの摂取量の多い」ことが考えられた。

その他の地域の食事にも触れてみたい。動物性脂肪と食塩の摂取過剰は、循環器疾患の重大な危険因子とされている。海拔二七〇

子どもの心 (23)

児童学科・幼児教育科 助教授 青木英実



「快活という徳」

冒頭から私事で恐縮だが、昨年わが家の長男、長女が相次いで、莫大病院の小児病棟に入院することになった。当時八カ月の長男と小学校一年生の長女が、それぞれ短期間ではあったが、病院生活を送ることになったのである。

いづれの場合も、家内は病棟にほとんど付ききりであるため、筆者は、残された2人の子供たちとみっちりつき合う羽目になってしまった。幸いにも子供たちは大きなショックも受けずに、元気に過ごすことができた。

小児病棟に通っている内に、他の入院児のお父さんやお母さんとも話をするようになったのだが、例外なく誰もが明るく快活で親切だったのには驚いた。聞けば、心臓の難病などで度々手術をうけたような子供たちばかりである。

この経験を通じて筆者は、ドイツのルソーと呼ばれた「パウルの次の言葉を深く噛み締めることができた。

「快活さあるいは喜びはその下で毒を除いてすべてが栄える天である。ただそれを享楽と混同してはならない。」(『レヴァーナ』恒吉法海訳)

享楽はあふれていても、果たして子供たちの心が本当の喜びと快活さで満ちあふれているか。大人が小さなことにも喜びを見出し、快活に闊達にこの世を渡っているが、それが子供たちを健やかに育てる要の一つかもしれない。

「快活さは、辞易とか陰気に対立するもので、穂を育てる土壌であり同時に花であり、その王冠である」とパウルはいうが、豊かになりながらも「不機嫌社会」と言われる現代に、まず子供とつき合う大人自身が反省すべきことは多いと思う。

おもしろくて
激しいスポーツ



女子のラクロスは外見上、かわいいスポーツと思われるかもしれませんが、実際はとても激しいスポーツです。また、キーパー以外は防具も付けずに、クロスと呼ばれる道具を使い、シュートをしたり、攻撃を防いだりする上、ボールも硬く、かなり危ないスポーツでもあります。(もちろん危険回避のためにルールが設けてあります)

しかし、ラクロスはそれだけではありません。おもしろいのです。小さなボールをクロスで投げ捕りする基本のパスキャッチでさえ、とてもスリリングでゲーム的です。試合は、これにシュートなども加わってよりゲーム性が高まります。これがおもしろくないはずがありません。このおもしろさに、はまってしまうのが私達なのです。

ラクロス愛好会

顧問 中野 隆二 助教授
活動日 毎週金・土曜日
部員数 16名

発表会

児童学科
オペレッタ発表会



△ 1月17日、大学児童学科では「あさひ幼稚園」の園児を招いてオペレッタの発表会を行った。

定期演奏会

クリスタルハーモニー
マンドリンクラブ

◁ 12月14日、早良市民センターで行われたマンドリンクラブの第28回定期演奏会

▽ 12月12日、ももちパレスで行われたクリスタルハーモニーの第23回定期演奏会



中村学園三陽高等学校

創立10周年を
記念して
式典を開催



昭和六十一年四月に開校された中村学園三陽高等学校が、創立十周年を迎え、平成八年十一月十五日に記念式典及び祝賀会が行われた。

式典は、大山敏彦学校長式辞、創立者中村久雄顧問のことは、中村量一理事長挨拶等の後、吹奏楽の演奏で終了した。

中村学園三陽高等学校は、中村学園が初めて設置した男子高校で、校訓として誠実、感恩、向上を掲げている。

昭和六十三年四月には、中高一貫教育を行うため、中村学園三陽中学校も開校されている。



△ 中村久雄顧問の胸像

なお、この式典に先立ち、同窓会より寄贈された、石碑の除幕式が、同窓会長等の関係者の出席のもと行われた。この石碑は、学園祖中村ハルが、教え子に送られていた「努力の上に花が咲く」をしるし、書籍をかたどったもので、正面入口に設置されている。

また、初代校長である、中村久雄現顧問の、胸像の除幕式が、製作者の木戸龍一氏(九州造形短期大学教授)、台座の銘をしるされた田中健蔵氏(福岡歯科学園理事長)、中村久雄夫妻出席のもと行われた。

一流シェフの料理にふれる!

—調理学実習特別講座(第2、3回)—



△ 嶋村光夫氏(左)と梅崎徳孝氏(右)

平成八年度から、食物栄養学科及び食物栄養科の学生を対象として、「調理すること」への関心を高めるとともに、「食」に携わる者としての豊かな感性を育むことを目指し、料理のプロによる特別講演並びに料理示範を実施しました。

前号(広報誌25号)で報告した第一回目に続き、第二回目を十月五日に、嶋村光夫氏(東京ロイヤルパークホテル総料理長)を迎えて行いました。

現在、日本の西洋料理界の第一人者である嶋村氏は、現代の感覚にあつたヘルシーなソース、ハーブや野菜を多く使った「最新フランス料理」というテーマで示範されました。素材を斬新でクリエイティブに仕上げている様子は、まさに味の芸術であり、長年の料理長としての経験談も「料理の極意」に迫るものでした。

また、この講座の助手として梅

崎徳孝氏(本学管理栄養士専攻第七回卒業)が同行されました。

梅崎氏は現在、同ロイヤルパークホテル調理部課長として、宴会部門を担当し、フランス料理界の若手のホープとして活躍中です。

第三回目は、十二月七日に古谷芳久氏(中村調理師専門学校製菓技術科講師)による「ニューウェーブのフランス菓子」というテーマで特別講演並びに製菓示範が行われました。古谷氏は、製菓の基本技術をまじえて丁寧に説明された後、次々と新感覚のフランス菓子を披露されました。

プロの料理人による特別講座は、いずれも受講した学生達に深い感銘と大いなる啓発を与えたことと確信します。

また、この講座の実施にあつて、多大なるご協力をいただいた関係各位に感謝し、お礼申し上げます。

(文責/食物栄養学科・吉岡慶子)



△ 古谷芳久氏

飛躍を期す、「家政科」

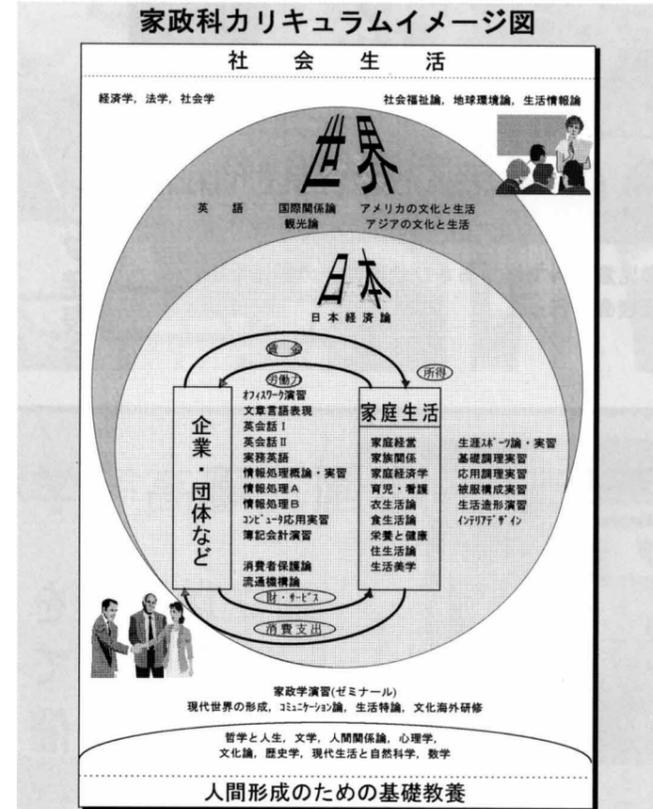
一時代にマッチした新カリキュラムスタート

短期大学 家政科長 西岡 弘 晃

家政科は、「家庭生活の本質を理解し、その基礎である家庭と衣食住に関する基本的知識・技術を修得させ、より豊かな生活文化を築く能力を養成すること」を教育目標に掲げ、大学らしい格調高い授業を行い、青春の多感な人間形成期を教師・友人と共に過ごす実り多い二年間のキャンパス・ライフを実現することを目指しています。

長年、「消費経済コース」と「生活文化コース」というコース制を採ってきましたが、平成八年度入学生からコースを統合して一本化しました。これを承けて、各コースのみに開講していた科目を開放して新カリキュラムを編成しました。激動の政治経済は、家庭生活の在り方を問い直し、家政学は、国際化・情報化・高齢化への社会変化を見据えたものでなければならぬことが明示されました。新カリキュラムはこれらの課題によりよく対応していける能力を養成することを目標としています。

カリキュラム・イメージ図に全授業科目を配置してみました。本学家政科では、家庭を取り巻く諸問題を広く学ぶことにしています。各家庭の経済は、企業等から得る賃金を所得として、これをいかに消費・貯蓄しながら生活するかと



いうこととなります。そのため、就職をして所得を得るためのキャリアアップを図ることが短大のキャリアアップでも必要不可欠なものです。実務で役立つレベルまでパソコン、ワープロ、秘書、簿記、英会話などの実習・演習を行うことにしています。一年次の春休みにはイギリス・パリへの海外研修も実施します。

また、哲学や心理学など人間形成のための基礎教養科目、社会経済の仕組みを学び、未来社会への課題を認識し、世界へ視野を開かせることを目的としている社会科学系の科目もバランスよく配置しています。広範囲かつ段階的に深化して系統的なカリキュラムになるように配慮しましたので、学生一人ひとりが自由に魅力的な科目を選択履修することが可能になりました。



△ 情報処理実習

食物栄養学科・学術講演会を実施

「バイオテクノロジー」「スポーツ栄養学」

2つの興味深いテーマについて講演



△ 白畑 實隆教授

食物栄養学科主催でバイオテクノロジーとスポーツ栄養学に関連した二つの講演会が、平成九年一月八日に大講義室で行われた。午前中に行われた講演会は、一限目にもかかわらず、バイオテクノロジーに関心のある学生・教職員約百二十名が出席。動物細胞工学学会の要職にある九州大学大学院農学研究所細胞制御工学研究室の白畑實隆教授が「動物細胞工学の最近の話題 動物細胞の老化抑制機構と老化抑制食品」という演題で講演を行った。



△ 杉浦 克己博士

この講演ではまず、動物細胞工学全体の学問体系が述べられ、次に老化に関連し染色体末端のテロメア配列とそれに関する酵素など、細胞の寿命が遺伝子によって規定されている新知見が紹介された。また細胞系を利用した老化防止食品成分の検索、アレルギーとの関連基礎研究とともに、発酵乳ケフィアの機能性など楽しい話が披露された。



△ 鮎川 誠氏

午後からは、明治製菓 健康産業事業部の杉浦克己博士から、「スポーツ 勝つための栄養と食」という興味あるスポーツ栄養学の講演が行われた。最初に栄養が選手の体調やパフォーマンスに密接に関係していることへの認識が高まった経緯が紹介された。次にスポーツ栄養学の手法に対して、食事調査をベースに選手の栄養摂取状態を明らかにし、評価・指導する方法、および運動生理・生化学的手法を用いた方法、さらに相互に補完する研究などが解説された。

ロツクの精神は 教育の基本にも繋がる

鮎川 誠氏が講演

児童学科講演会開催

平成八年度児童学科講演会が西1号館10Fの大講義室で、講師にミュージシャンの鮎川誠氏を迎えて行われた。

鮎川氏は一九四八年に久留米市に生まれ、明善高校を卒業後、九州大学農学部に入學し、そこでロックミュージックに本格的に取り組みんだ。それ以来、今日までミュージシャンとしての演奏活動の他に執筆、テレビ出演等、幅広く活躍している。

今回の講演会は児童学科三年次生を対象に開催したが、他学年の学生や短大生等、約三〇〇人近くが出席した。鮎川氏は「私とロック」の演題に示すように、ロックミュージックに関わってきた生き方について、終始ユーモラスに語った。必ずしも流暢な語り口とは言えないが、氏の率直な態度や言葉は会場にリラックスしたムードを醸し出した。

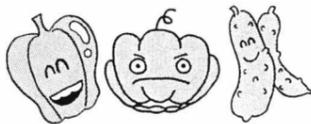
鮎川氏の講演内容から学生は何を感じたのであるのか。終了後に提出された感想をみると、ロックミュージックに対し新たな認識をもったと述べている学生が多い。つまりロックが個々の人に既存の概念にとらわれない表現方法を提供していることや、それぞれの人が最高の生き方を望む叫びであり、社会の様々な現象を直観的にとらえ正直に歌うものであること等、教育の基本に繋がるものを、一見全く異なってみえるものの中に持っているのを感じている。

そして、鮎川氏の九州弁まるだしの素朴な人柄や前向きな生き方から、学生は何よりも自分らしく生きることに對する勇気を与えられたようである。(講演会担当)

See You Again

健康生活の ススメ (24)

食物栄養学科・食物栄養科
講師 阿部 志磨子



最近読んだ本の中で印象深いもの一つに木蓮先生の「臓器農場」がある。私は元々この作家のファンであるが、話しの舞台が北九州であることで興味を覚えた。因みにこの本の著者は福岡出身で、東大の仏文科を卒業し九大の医学部で医学を修めた現役の精神科医でもある。小説の粗筋は妊娠初期にビタミンA (V.A) を多量投与し無脳症児を作りその臓器を他の難治性疾患の子供に移植するというもので、V.Aの催奇形性と医学の全日的課題である臓器移植問題をうまくリンクさせた推理小説であると思われる。

この本を読みながら「米国の研究者が、妊婦のV.A過剰摂取が先天異常児の出産確率を高めることを発表」という一昨年の新聞記事を思い出した。この米国の発表を受け平成7年12月には日本の厚生省からも同様の警告が発表された。勿論、日常の食事では全く心配はなく薬剤の過剰摂取が問題となっており、幸い日本では類似のV.A剤(1錠で所要量の10倍以上含有)は市販されておらず事無きを得ている。

V.Aが生前活動に必須な物質で典型的な欠乏症が夜盲症であることは知られているが、その他にも欠乏するとある種のガンに対し抵抗力が低下するという報告もある。しかし、薬局等で簡単ビタミンの錠剤を手に入れることが可能な昨今、多すぎれば害となる両刃の剣であることも忘れて欲しい。

一方、我々は食事におけるV.Aの多くをカロチンの形で摂取している。緑黄色野菜にはカロチンを始めとして健康に有用な成分が沢山含まれている。冬はV.Aの必要量も増し、「冬至にカボチャ」といわれるように健康の定めにも積極的な緑黄色野菜の摂取が望まれる。

私は十六年間に中村学園に御世話になりました。大学三十一年の歴史のおよそ半分を過ごさせていただいたことになりましたが、その間多くの方に助けていただきながらなんとか日々を過ごしてきたというが実感です。教職員の方々や学生諸君との出会いは私の大切な宝となりました。

立春がすぎ、小雨にぬれた木蓮の蕾がまっ白い花を枝一ぱいに咲かせ校舎を飾る三月末に、大学は卒業式を迎えます。毎年眺めていた校庭の四季の変化も今年の春は特別に私の目に映ります。私も永い間お世話になった大学を今春限りで卒業します。なごり

惜しい想いでこの見慣れた景色をみつめています。昨年暮れ十二月二十七日、業務納めの日に、中村ハル先生の霊塔がある千原寺へ学生課の方と一緒にまいりました。霊塔をきれいに洗い清めた後、学内行事のたびに先生からいただいた



児童学科・幼児教育科
助教授 安部 恒久

ありがとうございます！
いざいしました！

ができあがり、真新しい体育館で最初の入学式が行われたのを昨日のように思い出します。私の最初の研究室があった旧教養棟も現在はありませんが、その後に移った西1号館も立派な十階建に変わりました。この十六年間にふりかえってみて、中村学園の変化の大

きさにあらためて驚きます。今後も中村学園はさらに充実した学園を目指して発展していくものと思われま。二十一世紀に中村学園はどんな大学となっているのでしょうか。本当に長い間ありがとうございました。



学 生 課
保健主任 永代 圭子

お別れに際して

かつての中村学園では、学生自から教室内外の清掃をしていますが、今では何処の大学も同じでしょうが、清掃はほとんど業者に依頼しています。ポイ捨てされたゴミや卓上に放置したままの飲みかけの紙コップを片づけ、トイレのタイルをみがき、雨の日に下口靴で登り降りする階段を黙々と床みがきする人のことを、私たちは大学に学ぶ者として心にとめ、お互い学内の美化に協力して気持ちよく学び、働きたいものです。どうぞ、中村学園の良き伝統を受け継いで勉学に励んで下さい。学園とお別れしましても大学の発展を願う皆様方は忘れませぬ。お世話になりました。ご気遣う下さりませぬ。

退職される方々からの メッセージ

教職四十五周年を 振り返って

児童学科・幼児教育科
教授 倉園 昭雄



昭和の初めに生まれた私は日の丸と君が代の歌、そして軍国主義の教育を受けて育った。昭和二十年八月十五日を境に文化国家日本のためにと美術の道に進んだ。

昭和二十八年東京教育大学を卒業し、東京大田区立大森六中に赴任が決まり校門に立って驚いた。青天にはためく日の丸を迎えられたのである。

その学校は朝礼の時、月曜日には君が代で国旗を、木曜日には校歌で校旗を掲揚していた。時の文部次官がその日の丸を目にし、後日国旗を寄贈した逸話もある。

昭和三十年に都立高校に転じ、昭和三十七年には福岡教育大へ、その後福岡大、長崎大、愛媛大と国立の四大学を経て、平成二年に愛媛大学を退官、緑あつて本学の門に立ち、三十五年ぶりに青天の下学舎にはためく日の丸を目にしてから七年間が過ぎた。

振り返ると私は日の丸を迎えられて四十五年たった今、日の丸に送られようとしている。実に感慨無量なものがある。その詩りと本学で学んだ諸君、その詩りと

自信と勇気を持って来るべき二十世紀の社会で活躍されん事を期待する。最後に教職員皆様のご健勝とご多幸とを祈ります。

衣食足りて礼節を知るか

—退職に当たって—

児童学科・幼児教育科
教授 山下 功



衣食足りて礼節を知る。この句は管子牧民篇の「倉廩実則知礼節衣食足則知荣辱」(米倉が一杯に満つると人は礼儀を知るようになり、生活の道が豊かであれば、道徳心が高まって名譽と恥辱を知るようになる)という意味である。

昭和二十年敗戦となり、航空士官学校を退校して家に帰ったら食べ物無く、農業をして生き延びた。管子によれば、まさに礼節無きはすの時代であったが、現在よりまだ良かったように思われる。

昭和二十一年から国民学校の助教(二十二年から助教諭)になり、以来五十年教職関係の仕事に従事

学生からの 嬉しいメッセージ

家政科
教授 藪 敏也



「哲学と人生」の講義で、旧約聖書と古事記の創世観についてという項目があった。アダムとイブの創造に対して、彦と姫の誕生である。試験問題には出していない

して来た。二十二年憲法施行、教育基本法制定と続き、教育の目的を「人格の完成をめざす」と規定した。その結果、倉庫(そうりん)を満たす知的面の教育は格段に進んだが、感情・意志の面の陶冶は後退した感がある。大学院(九大)時代に指導教官牛島義友教授(青年心理学)が「山下君、大学教育は私学でないと出来ないよ」と言われた意味が良く分からなかったが、中村学園大学の五年間で理解出来た。

学園には「清節、感恩、労作」という建学の精神があり、人は教育によって人になるということを

かかったが答案の裏に学生からメッセージがあった。「彦と姫について調べました。読んで下さい」とある。紹介すると、彦とは日の子のこと、姫とは日の女のことである。古事記を讀んでみたところ、天照大御神は日の神いわゆる日神とあった授業では日「豊」と習った。豊とは「かみ」のことであるとも習った。そこで私は彦(日子)、姫(日女)の日は天照大御神のことなのではないかと思った。人(豊留)には皆「かみ」がおなかの中にあるという。そのかみは分豊と呼ばれている。だからやっぱり彦と姫は天照大御神の子ではないかと思った。

しかし「天照大御神が日神である」ということは、古事記や日本書記の中の神話なので、実際はどうか疑わしい」と日本歴史大辞典に書かれていた。ちなみに両親は伊勢神宮からおふだをいただいた。それには天照大御神と書いてある。ちよっとしたヒントで、図書館に行き細かいたところまで調べ、こういう学生を本当に有り難いと思った。

平成八年度 後援会地区連絡会

今年も本学を含め八都市で開催

平成八年度の後援会地区連絡会が二月二十二日から三月九日まで本学を含め九州内八都市で開催され、学園の教育・研究の近況報告とともに、学生の履修面、生活面、就職状況に関する全般的な報告と説明及び個別懇談が行われた。

この連絡会は、より良い教育効果をあげるためには、大学と学生、及び保護者が互いに連携をとり協力しあうことが必要であること、また保護者からの意見も本学の教育研究に出来るだけ反映していきたいとの考えから開催されている。(開催地区、会場は左記のとおり。)

平成8年度 後援会地区連絡会

地区	期日	会場
北九州	2月22日(土)	ひびき荘
宮崎	2月22日(土)	宮交エアラインホテル
長崎	2月23日(日)	ホテルニュー長崎
鹿児島	2月23日(日)	かごしま林田ホテル
佐賀	3月1日(土)	佐賀東急イン
熊本	3月1日(土)	チサンホテル熊本
福岡	3月8日(土)	本学・西1号館10階
大分	3月9日(日)	つるみ荘



△北九州会場

全国栄養士養成施設協会会長表彰・全国保母養成協議会会長表彰が決定

栄養士、管理栄養士養成課程を優秀な成績で卒業する学生を、全国栄養士養成施設協会が毎年表彰しているが、今年も本学から三名の会長表彰を受ける。

また、全国保母養成協議会も保母養成課程を優れた成績で卒業し保母になる学生を表彰しており、二名が会長表彰を受けることになった。

表彰者には、三月二十四日卒業式当日、学長から表彰状が渡される。受賞者は次のとおり。

全国栄養士養成施設協会会長表彰



△短期大学 食物栄養科 高橋真美子さん
 △大学 管理栄養士専攻 前間 真弓さん
 △大学 食物栄養学専攻 内田 陽子さん

全国保母養成協議会会長表彰
 △大学 児童学専攻 井本 貴子さん



△短期大学 幼児教育科 雷極ゆきのさん

(一冊の本)

『NOMO』
 一星条旗とトルネード
 ハーブ・フェーゲン 著
 ベースボールマガジン社監訳

児童学科 助手 平方 祐子
 幼児教育科



最近感動したことの一つに野球選手、野茂英雄の活躍があります。日本中を感動の渦に巻き込んだ野茂について知りたいと思ひ、手にした本が「NOMO 星条旗とトルネード」でした。著者はアメリカのベースボールライター、ハーブ・フェーゲン氏です。

この本で、筆者は意外に古い日米野球の歴史や、太平洋戦争で生じた深い溝をのりきれたことの一つに野球を通しての交流があったこと、メジャーリーグの歴史の中で野茂は、ムラカミに次ぐ二人目の日本人選手であることなどをあげています。

さらに、ドジャースを中心に西部地区優勝やプレーオフまでのゲームを細かくレポートし、その時の相手チームの選手や野茂自身にインタビューする中で、客観的に野茂を分析している点がおもしろく、中でも「大リーグを救ってくれた野茂に感謝したい」とのメッセージに、同じ日本人として誇りすら感じられました。

野茂の技術面だけでなく、ひたすらに黙々と静かに投げ続ける姿に感動し、そのひたむきな中に純粹さを感じてくれたアメリカの人々に感謝します。今後も見続けたい人、NOMOです。

平成8年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
11日	3日	30日	30日	30日	28日	28日	28日	28日	28日	28日	28日	28日
入学式(大学生三百三十二名、短大生九百三十三名、計千二百六十五名が入学)	新入生オリエンテーション	大学入学式(六名入学)	大学・短大講義開始	大学院講義開始	新入生宿泊研修(24日)	学園創立記念式典	高等学校教育実習(6月8日、大学食専4年)	学園創立記念式典	高等学校教育実習(6月8日、大学食専4年)	学園創立記念式典	高等学校教育実習(6月8日、大学食専4年)	学園創立記念式典

キャンパスこの1年の動き

平成9年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
25日	24日	24日	24日	24日	24日	24日	24日	24日	24日	24日	24日	24日
リリーグー研修	第30回霜月祭(3日)	大学推薦入学選考・短大家政科指定校推薦入学選考	短大推薦入学選考	大学推薦入学選考・短大家政科指定校推薦入学選考	短大推薦入学選考	大学推薦入学選考	短大推薦入学選考	大学推薦入学選考	短大推薦入学選考	大学推薦入学選考	短大推薦入学選考	大学推薦入学選考

教職員の動き

- ▽退職 (平成八年十月三十一日付)
 曙寮舎監 出田 瑞枝
 △昇任・昇格・配置換等 (平成八年十一月一日付)
 図書課長 原 博幸
 庶務課長 高田 和則
 係長 中村 彰
 係長 芹田 英樹
 女子中・高 事務室係長 塚田 昭人
 女子中・高 事務室係長 桑原 實宏
 事務職員 植木 貴子
 学生課員 林田 瞭子
 兼曙寮舎監 柴山寮舎監 林田 瞭子
- 出促進等協同事業による専門家派遣
 山元 寅男 学長
 ①中国(H8・10/28~10/31)
 ②上海中医药大学名誉教授授与式及び講演
 宮田奈美子 教授
 ①中国(H8・12/8~12/15)
 ②国際学会ユーラシア化学会議研究発表
 鶴田 八郎 助教授
 ①オーストラリア(H9・1/20~1/27) ②ACTA-ATES OL National Conference and the 10th Summer School
 松尾 智則 講師
 ①大韓民国(H8・11/2~11/5) ②「帰国留学生調査」の韓国現地調査実施のため

海外出張の記録

- 氏名・職名の訪問国・期間
 ①目的
 廣畑 富雄 教授
 ①アメリカ(H8・11/4~11/17) ②食物栄養とがんに関するエキスポ・パネェル会議出席及び放射線影響研究所専門評議委員会
 大田 英明 教授
 ①トルコ共和国(H8・9/20~9/29) ②日本貿易振興会(JETRO)の発展途上国輸

読者の皆様へ

広報誌「セトリ」も、26号を発行することができました。次号からは、さらによりよい誌面づくりを目指していきます。そのために、みなさんの声をお聞かせください。ご意見・ご感想・情報他何かありましたら、「広報室」までお知らせください。



△定期演奏会から（クリスタルハーモニー）